

各地域の消防団  
新春訓練などで  
安全と安心を祈願



### 住宅火災による死者

#### すでに二名に

2008年

平成十九年中に津市消防本部管内で発生した建物火災は76件で、うち44件が住宅の火災(58%)で、五人の尊い命が失われました。亡くなられた五人はいずれも六十五歳以上の高齢者です。

住宅火災の主な出火原因は、こんろ、たばこ、ストーブなどです。最近の火災事例をみると、高齢者によ

るこんろや暖房器具などの取扱いの誤りにより、火災に至った例が少なくありません。また、ガスコンロに電気炊飯器をかけて点火したり、ストーブに草刈機などの燃料を誤給油し火災となった事案がありました。



コンロに電気炊飯器をかけて点火した火災事例



- 久居消防団 (1/6 久居市民会館)
- 河芸消防団 (1/13 河芸図書館駐車場)
- 美里消防団 (1/12 美里文化センター)
- 一志消防団 (1/6 一志総合支所駐車場)
- 白山消防団 (1/13 白山運動場)
- 美杉消防団 (1/13 美杉中学校校庭)



## 消防署だより 名所と歴史紹介 南分署の巻

### 結城神社のしだれ梅

津市藤方にある結城神社は南北朝時代に「建武中興」の樹立に貢献した武將、結城宗公が祀られています。

結城宗公は、北畠親房らとともに海路を東国へ向かう途中、暴風雨にあい(一三三八年九月)安濃津(現在の津市)に漂着し、この地で病没したといわれています。

社は、「別格官幣社」として明治十五年に列格されたもので、ここは古くから結城の森と伝えられ、結城塚とか結城明神と呼ばれてあがめられていました。現在の社は、戦災にあつたものを昭和三十一年に再建されたもので、当神社には江戸時代に造られた結城宗公の立派な墓碑があり、華麗なしだれ梅でも有名な場所です。

結城神社の梅は、樹齢二五〇年から三〇〇年のものもあり、シーズンともなると、しだれ梅



見事に咲き誇る結城神社のしだれ梅

が三〇〇本余り、立梅が一〇〇本(いずれも白梅、紅梅、ピンク、一重、八重)が咲き乱れ、多くの観光客で賑わいます。これだけの条件と種類が揃っている所は全国を探しても数少ないことでしょう。

「華麗な」言葉がピッタリくる「しだれ梅」ですが、それでいて梅特有の「わび、さび」を感じさせてくれます。例年、しだれ梅まつり(期間二月中旬～三月中旬)が開催され、期間中の土曜日・日曜日は、眺梅者の家運繁栄と健康を祈願する梅花祭も行われ、見る人の目を楽ませてくれます。あなたも一度、華麗な世界に立ち寄ってはいかがですか。